

H26 年厚生労働科学研究委託費循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
「実践情報の解析による効果的な保健指導の開発と評価に関する研究」班

平成 27 年 3 月 11 日

各市町村国民健康保険担当課 御中
各健康保険組合 御中
全国健康保険協会 御中
特定健康診査・保健指導実施機関 御中

研究協力をお願い

はじめに

厚生労働科学研究「実践情報の解析による効果的な保健指導の開発と評価に関する研究」班では医療保険者の行う特定保健指導の有効性を検証し、特定健診保健指導制度の**第三期計画で実施する特定保健指導はどのようなものが望ましいか、エビデンスをより明らかにする研究**を実施することになりました。

当研究班では、医療保険者が平成 23 年度と平成 24 年度に実施した特定保健指導のデータ及び平成 23 年度から平成 25 年度の特定健康診査のデータを連結可能匿名化し、特定保健指導の一年後の効果と二年後の効果を検証し、支援ポイント数や委託の有無など、実施方法と効果との関連を明らかにすることを目的としています。最終的には長期にわたり効果が高くなる要因を整理し、効果的な特定保健指導の要素を明らかにし、今後の我が国の特定保健指導制度のあり方を提言することを目指しています。

特定保健指導の効果は年齢・意欲など対象者側の要因、特定保健指導のプログラムの構成（支援ポイント数など）、委託の有無など多様な因子によって影響を受ける可能性があります。特定保健指導の実施数には限りがあり詳細な効果要因の解析が困難なため、出来るだけ多くの保険者のデータを収集し解析を行う必要があります。そこで研究を進めるにあたり貴機関に協力をお願いするものです。

厚生労働科学研究委託費循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
「実践情報の解析による効果的な保健指導の開発と評価に関する研究」班

研究主任者 岡山 明

国立循環器病研究センター客員部長
合同会社生活習慣病予防研究センター代表

担当 研究員 浅沼 智之

協力依頼事項の詳細

1. 参加要件

特定保健指導の実績が、積極的支援と動機づけの支援の合計で、原則として年間 50 例以上ある医療保険者・指導機関を対象とさせていただきます。

2. 収集をお願いするデータの種類

平成 23～25 年度特定健康診査結果 (XML、CSV)

データ形式：XML または FKAC167 (国保連合会特定健診フォーマット CSV)

平成 23・24 年度特定保健指導結果 (XML,CSV)

データ形式：XML または FKAC-165 (国保連合会特定保健指導フォーマット CSV)

特定保健指導効果を非参加者と比較するため、同一保険者の全ての特定健康診査結果が必要となります。

3. 収集方法と解析データセットの作成手順

当研究班より配布します匿名化ソフト (USB ハードディスク内に格納) を用いて連結可能匿名化データセットを作成し、当研究班データ管理事務局 (国立循環器病研究センター) に送付していただきます。匿名化ソフトの操作は、医療保険者の施設内でご担当者に行っていただくことになります。必要に応じて、当研究班より担当者が訪問して操作を補助します。

個人情報については、生年、性別以外は匿名化ソフトによって全て削除します。更に当研究班データ管理事務局で医療保険者・指導機関の再匿名化をおこなって解析データセットを作成します。これにより個人・医療保険者・指導機関共に匿名化されるので個人・医療保険者が特定される可能性はありません。

4. 研究協力に伴う負担

研究協力に伴う負担は下記の通りです。

1) 過去の特定健康診査・保健指導データを整理していただく必要があります。

2) 当研究班担当者の支援のもと匿名化ソフトの操作を行い、作成されたデータセットを送付してい

ただが必要です。

3) 研究終了までデータが保管された匿名化ソフトを保管する必要があります。

5. 研究協力に伴うメリット

1) 各医療保険者の特定保健指導の効果の状況等について、最新の手法を用いて分析し、保険者種別・地域別などで区分して集計します。また自保険者の指導効果がどのくらいか、また自保険者の位置づけが明らかになります。

2) 効果分析の基礎的手法を学ぶことができます。

3) 特定保健指導の効果要因に関する大規模ワークショップに参加(任意)することができ、特定保健指導に関する最新知識等を入手できます。

4) 特定保健指導の効果要因を分析した結果を元に、より有効性のある特定保健指導計画が策定できます。

6. 業務の流れ

1) 申込方法

本研究にご参加くださる場合、研究参加連絡票に必要事項を記載のうえ、3月18日(水)迄にFAXもしくはメールにて事務局までお送りください。

送付先 FAX: 03-4560-1960 / 電子メール: jimukyoku.yuko@jrisp.com

2) 契約書の締結

研究主任者と責任者間でデータの授受に関する契約を締結します。全てのデータは連結可能匿名化されており、医療保険者の保健事業ガイドラインでは対象者の個々の同意を必要としないとされています。保健指導受託機関の場合は医療保険者も匿名化した上で収集します。研究参加についてはホームページなどで広報をお願いします。

3) 匿名化データセットの作成と送付

当研究班と日程を調整した上で、当研究班担当者支援のもとに匿名化ソフトを操作して匿名化データセットを作成していただきます。データをCDまたはUSBFLASHディスクに格納して当研究班データ事務局に送付してください。必要な封筒・郵送料等は全て当研究班で準備します。

4) 大規模ワークショップ

効果要因の検討のため、研究参加機関を対象に、平成 26 年度は 2 月 27 日（金）～28 日（土）に、特定保健指導効果要因に関するワークショップを実施します。今回のワークショップは参加申し込みをすでに締め切りましたが、平成 27 年度中にも実施を検討中です。

7. 研究成果の公表とフィードバック

研究成果は統計表として公表され、個人や個々の保険者が特定される形式では公表されません。また個々の保険者の集計は報告書には記載しませんが、個々の保険者について報告書と同型式の集計を行い、結果を送付します。これにより貴施設の特定保健指導効果を他の施設と比較して把握可能となります。

当研究に関するお問い合わせ先

合同会社生活習慣病予防研究センター

代表 岡山 明

担当 研究員 浅沼 智之

TEL : 03-4560-1955 / FAX : 03-4560-1960

E-mail : jimukyoku.yuko@jrisp.com

研究グループ構成

研究主任者 岡山 明（合同会社生活習慣病予防研究センター代表）

三浦克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/
アジア疫学研究センター(CERA)センター長）

神出 計（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授）

由田克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学教授）

中村幸志（北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野准教授）

渡邊 至（国立循環器病研究センター予防健診部医長）

栗林 徹（岩手大学教育学部教授）

奥田奈賀子（人間総合科学大学健康栄養学科准教授）

FAX 番号 03-4560-1960

研究参加連絡票

「実践情報の解析による効果的な保健指導の開発と評価に関する研究」事務局

浅沼 あて

締切日：3/18（水）

市町村・健康保険組合名	
下記のいずれかに をつけてください。	
1. 研究に参加希望	
2. 研究に不参加	
部署名・役職	
ふりがな 氏名	
電話番号	
E-mail	
職種（ で囲む）	事務職・医師・保健師等・その他（ ）
連絡事項	

メール e-mail : jimukyoku.yuko@jrisp.com